

科目名		精神看護方法Ⅰ (対象の理解) Psychiatric NursingⅠ		担当教員 (研究室番号)		荒木 学 (105) 長南 幸恵 (401)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修 年次	2年次 後期	科目 区分	専門科目・広域看護学			選択 区分	必修	単位数 (時間)	1(15)	授業 形態	講義	科目等 履修生	否	
													オープンクラス	否
科目 目的	精神疾患・精神障がいを抱えながら生きる人々やその家族の体験を理解し、回復を促すために必要な看護について述べるができる。													
ディプロマ・ ポリシー (DP)	主要なDP	E 地域社会に暮らす人々の生活支援において必要となる情報を分析し、健康課題を解決するための方策を考えることができる。 (思考・判断)												
	関連するDP	B 人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。(知識・理解) C 多様な考え方や文化的背景を持つ人々の特徴に応じて、自らの看護活動の必要性や方法を説明するためのコミュニケーション能力を有している。(技能・表現)												
到達 目標	1. 精神疾患の病態、治療について述べるができる。 2. 精神疾患・精神障がいを抱えながら生きる人々やその家族の体験と生活上の諸問題について述べるができる。 3. 精神疾患・精神障がいを抱えながら生きる人々やその家族の回復を促す看護について述べるができる。													
成績評価方法 (基準)		筆記試験80%、レポート課題20% ＊レポート課題については、ルーブリックを用いて評価する。												
再試験の有無と 基準等		再試験：有(科目不合格者のうちレポート課題の提出がされており、期末試験を受験した者にのみ再試験を実施) 再試験は筆記試験のみとする。												
教科書		・精神看護学Ⅰ こころの健康と地域包括ケア(改定第3版)、南江堂、2022. ・精神看護学Ⅱ 地域・臨床で活かすケア(改訂第3版)、南江堂、2022.												
参考書等		・看護判断のための気づきとアセスメント 精神看護, 中央法規出版, 2021. ・他、授業時に随時紹介												
学生の主体性を伸ばす ための教育方法と学生 への期待		精神看護学概論では「私たちの生活とメンタルヘルス」のつながりについて学びました。この精神看護方法Ⅰでは、精神科の治療、看護が必要となっている状態にある方について学びます。精神疾患・精神障がいを抱えながら生きる人々やその家族の体験を理解し、回復を促すために必要な看護について学びましょう。												
備考		・精神看護学概論を習得していないと履修できない。 ・本科目は精神看護学方法Ⅱの先修条件である。												
回	学習項目			学習内容						主担当 教 員	授業 方法			
1回	オリエンテーション 精神疾患の成り立ち 精神症状のアセスメント			・オリエンテーション(授業予定、評価方法の説明) ・精神疾患の分類について学ぶ。 ・精神症状のアセスメントについて学ぶ。						荒木	講義			
2回	神経性障害、ストレス関連障害および身体症状 症の理解と看護			・神経性障害(不安症、強迫症)、ストレス関連障害・解離症・身体症 状症の病態・治療と看護について学ぶ。 ・家族の状態と看護について学ぶ。						荒木	講義			
3回	統合失調症と関連疾患の理解と看護①			・統合失調症の病態・治療と看護について学ぶ。						荒木	講義			
4回	統合失調症と関連疾患の理解と看護②			・統合失調症の病態・治療と看護について学ぶ。 ・家族の状態と看護について学ぶ。						荒木	講義			
5回	気分障害の理解と看護			・気分障害の病態・治療と看護について学ぶ。 ・家族の状態と看護について学ぶ。						荒木	講義			
6回	神経発達障害、知的能力障害の理解と看護			・神経発達障害、知的能力障害の病態・治療と看護について学ぶ。 ・家族の状態と看護について学ぶ。						荒木	講義			
7回	認知症の理解と看護			・認知症の病態・治療と看護について学ぶ。 ・家族の状態と看護について学ぶ。						荒木	講義			
8回	アディクションの理解と看護 パーソナリティ障害の理解と看護 摂食障害の理解と看護			・アディクション、パーソナリティ障害、摂食障害の病態・治療と看護 について学ぶ。 ・家族の状態と看護について学ぶ。						荒木	講義			

学 習 課 題	
1回目課題（事前）：	教科書関連部分（Ⅱ p.1-32, 98-104）を読んでおく。
2回目課題（事前）：	教科書関連部分（Ⅱ p.70-75）を読んでおく。
3回目課題（事前）：	教科書関連部分（Ⅱ p.57-63）を読んでおく。
4回目課題（事前）：	教科書関連部分（Ⅱ p.57-63）を読んでおく。（事後）：レポート課題に取り組む。内容は授業内で提示する。配点は20%。
5回目課題（事前）：	教科書関連部分（Ⅱ p.63-70）を読んでおく。
6回目課題（事前）：	教科書関連部分（Ⅱ p.92-95）を読んでおく。
7回目課題（事前）：	教科書関連部分（Ⅱ p.86-92）を読んでおく。
8回目課題（事前）：	教科書関連部分（Ⅱ p.75-86）を読んでおく。

実務経験を活かした教育の取組	
・担当教員全員は、看護職として実務経験がある。看護の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義を行う。	